

2022年度 電力・エネルギー政策パッケージ（概要版）

中長期的に目指す姿 経済と環境の好循環をつくり出し、日本一の産業と県民の豊かな暮らしを支える安全で安定したエネルギー社会

柱1（需要面） 徹底した省エネルギーの社会づくり ～エネルギーの最適利用や高効率な設備・機器の導入促進など、あらゆる場面における徹底した省エネルギーを推進～

<p>1 スマート・ユースを实践するライフスタイルへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県庁における省エネ対策の実施 ● 地球温暖化防止・省エネ行動の実践に向けた普及啓発 	<p>2 先進技術を取り入れたエネルギー消費が少なく暮らしやすいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住宅用地球温暖化対策設備（HEMS、燃料電池、蓄電池、電気自動車等充給電設備（V2H）、太陽熱利用システム、ZEH）設置に対する市町村との協調補助 【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象に「太陽熱利用システム」を追加。 ・住宅用太陽光発電施設の累積設置基数は223,043基（2021年9月末現在、16年連続全国1位）。 ● 建築物の環境性能を総合的に評価する「CASBEE あいち」の運用 ● 地球環境に優しい環境共生建物スタートアップ支援拠点「STATION Ai」の整備 【新規・追加】 <ul style="list-style-type: none"> ・高断熱化による建物外皮の熱負荷削減、自然通風、自然採光による自然エネルギー利用、マイクロガスコージェネレーションシステム等による設備システムの高効率化、及びBEMS導入による高効率運用などによって省エネルギー性能の最大化を実現し、CASBEE名古屋Sランクを目指す。 ● 先進環境対応自動車の導入を行う旅客・貨物運送事業者、中小企業等の事業者及び自動車リース事業者に対する補助 	 <p>STATION Ai 外観デザイン</p> <p>地球環境に優しい環境共生建物としてPFI手法「BTコンセッション方式」により整備・運営する。2024年秋、オープン予定。</p>
<p>3 産業の競争力を高める省エネ対策の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中小事業者を対象とした「あいち省エネ相談」の実施 ● 温室効果ガスの総排出量が相当程度多い事業者に係る「地球温暖化対策計画書制度」の運用 ● 中小企業の環境負荷低減設備等の導入に対する融資 【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・「経済環境適応資金」のうち「パワーアップ資金【カーボンニュートラル】」を創設。 ● 施設園芸農家の省エネ施設・設備の導入に対する補助 【新規・追加】 <ul style="list-style-type: none"> ・燃油価格高騰対策として、施設・設備の省エネルギー化に向けた補助制度を創設。 		

柱2（供給面） 再生可能エネルギーの導入拡大等による多様なエネルギーづくり ～地域の特性を生かし、太陽光、小水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーを最大限に活用～

<p>1 太陽光の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住宅用地球温暖化対策設備（HEMS、燃料電池、蓄電池、電気自動車等充給電設備（V2H）、太陽熱利用システム、ZEH）設置に対する市町村との協調補助＜再掲＞ 【拡充】 ● 犬山浄水場におけるメガソーラー等の整備・運営を組み込んだPFI事業の推進 	<p>2 小水力の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農業水利施設を活用した小水力発電の推進 ● 「産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会」の運営
<p>3 バイオマスの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 流域下水道浄化センター（衣浦西部・豊川・矢作川・衣浦東部）における下水汚泥のエネルギー利用 【新規・追加】 <ul style="list-style-type: none"> ・衣浦西部浄化センターにおいて、2022年4月から焼却廃熱を利用した下水汚泥焼却炉の運転を開始。 	<p>4 その他のエネルギー源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害時における電動車等の活用 ● 「あつみ次世代農業創出プロジェクト」における再生可能エネルギーを活用した持続可能な農業の実施

柱3（横断的な取組） エネルギー対策の総合的な推進並びに研究開発及び産業化の推進 ～省エネ、創エネ、蓄エネに関する取組を総合的に進めるとともに、先進技術の研究開発や産業化を推進～

<p>1 エネルギー対策の総合的な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 矢作川カーボンニュートラルプロジェクトの推進 【新規・追加】 <ul style="list-style-type: none"> ・矢作川流域をモデルケースとし、“水循環”をキーワードに、再生可能エネルギー等の導入による国土強靱化をはじめ、森林保全・治水・水道からエネルギーまでを含め、官民連携で総合的かつ分野横断的にカーボンニュートラルの実現を推進。 ● 「愛知県電力・エネルギー対策本部」の運営 	<p>2 エネルギー技術の先進的な研究開発及び普及等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル関係設備等の施設整備及び循環ビジネスの事業化可能性等の検討に対する補助 【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度に、資源投入量、廃棄物発生量を抑える「サーキュラーエコノミー」に資する製品の製造設備を補助対象に追加。 ● 県内3港におけるカーボンニュートラルポートの形成に向けた取組 【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋港に加え、衣浦港・三河港においても、次世代エネルギーの大量輸入や貯蔵、利活用等を図るCNP（カーボンニュートラルポート）形成計画の策定に着手。 ● 中部圏における大規模水素利活用の取組推進 【新規・追加】 <ul style="list-style-type: none"> ・中部圏において大規模水素サプライチェーンの社会実装を実現するため、地元自治体、経済団体及び民間企業が連携して取組を推進。 ● 「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」による未利用資源・エネルギーの有効活用 【新規・追加】 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルや食品、未利用木材などの循環利用を促進するサーキュラーエコノミー推進モデルを展開。 ● 再生可能エネルギー地産地消推進事業の実施 ● 産業空洞化対策減税基金を活用した研究開発・実証実験及び企業立地に対する補助 	 <p>SDGsロゴ（カラーホイール）及びSDGsアイコン</p> <p>愛知県の電力・エネルギー政策は、SDGsの目標「7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、「9 産業と技術革新の基盤をつくらう」、「11 住み続けられるまちづくりを」、「12 つくる責任、つかう責任」、「13 気候変動に具体的な対策を」、「15 陸の豊かさも守ろう」の達成に貢献。</p>
<p>3 次世代自動車の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● EV、PHV及びFCVを対象とした自動車税種別割の課税免除 <ul style="list-style-type: none"> ・県内のEV、PHV及びFCVの登録台数は、計27,535台で全国1位（2021年3月時点）。 ● 公用車への次世代自動車（EV、PHV及びFCVなど）の率先導入による普及啓発 ● 水素ステーションの整備費及び需要創出活動費に対する補助 <ul style="list-style-type: none"> ・県内の水素ステーション数は、整備中も含め全国1位の37か所（2022年3月末現在）。 		